

様式第2

不要部分を消す
(以下同様)

揮発性有機化合物排出施設設置~~(使用、変更)~~届出書

提出日を記入

提出先を記入

令和3年4月1日

佐久地域振興局長 様

(氏名又は名称及び住所並びに法人にあつてはその代表者の氏名)

法人の場合は代表者

届出者

長野市南長野0-0-0
〇△産業株式会社
代表取締役 長野太郎

大気汚染防止法第17条の5第1項~~(第17条の6第1項、第17条の7第1項)~~の規定により、揮発性有機化合物排出施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の 名 称	〇△産業株式会社 佐久工場	※整理番号	
工場又は事業場の 所 在 地	佐久市跡部0000	※受理年月日	年 月 日
揮発性有機化合物 排出施設の種類	7 印刷の用に供する乾燥 施設 (グラビア印刷)	※施設番号	
揮発性有機化合物 排出施設の構造 及び使用の方法	別紙1のとおり。	施設の項番号及び種類(大気汚染防止法施行令別表第1の2)を記入 例 1 化学製品の製造の用に供する乾燥施設 2 塗装施設 3 塗装の用に供する乾燥施設	
揮発性有機化合物 の 処 理 の 方 法	別紙2のとおり。		

- 備考
- 揮発性有機化合物排出施設の種類の欄には、大気汚染防止法施行令別表第1の2に掲げる項番号及び名称を記載すること。
 - ※印の欄には、記載しないこと。
 - 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。
 - 排出ガスを処理施設において処理していない場合には、別紙2の届出は必要ない。

揮発性有機化合物排出施設の構造及び使用の方法

工場又は事業場における施設番号		1	
名称及び型式		グラビア印刷機 〇〇-◇◇型	
設置年月日		年 月 日	年 月 日
着手予定年月日		令和3年 6月 5日	年 月 日
使用開始予定年月日		令和3年 7月 10日	年 月 日
規模	送風機の送風能力 (m ³ /h)	30,000	
	排風機の排風能力 (m ³ /h)	最大(定格能力運転時)の 湿りガス量を記入	
	揮発性有機化合物が空気に接する面の面積 (m ²)		複数のVOC排出施設等から集合煙突を経て排出される場合であっても、各施設が単独で稼働し煙突から排出する場合のものを計算して記入
	容量 (kL)		
1日の使用時間及び月使用日数等		8時間/回 9時~17時 1回/日 20日/	
排出ガス量 (m ³ /h)		25,000	
使用する主な揮発性有機化合物の種類		トルエン、酢酸エチル、 MEK、IPA	
揮発性有機化合物濃度 (容量比ppm(炭素換算))		10	
参考事項		処理施設がある場合は 処理後の濃度を記入	

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 規模の欄には、大気汚染防止法施行令別表第1の2の中欄に掲げる施設の当該下欄に規定する項目について記載すること。
- 3 揮発性有機化合物排出施設の構造及びその主要寸法を記入した概要図を添付すること。
- 4 排出ガス量は、湿りガスであって、最大のものを記載すること。
- 5 排出ガス量については、温度が零度であって圧力が1気圧の状態における量に換算したものとす。
- 6 揮発性有機化合物排出施設が貯蔵タンクである場合には、排出ガス量の欄には記載しないこと。
- 7 揮発性有機化合物濃度は、湿りガス中の濃度とすること。
- 8 揮発性有機化合物濃度は、揮発性有機化合物の処理施設がある場合には、処理後の濃度とすること。
- 9 参考事項の欄には、揮発性有機化合物の排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出量の変動の状況、揮発性有機化合物の排出の抑制のために採っている方法(排出ガスを処理施設において処理しているものを除く。)等を記載すること。

別紙2

揮発性有機化合物の処理の方法

揮発性有機化合物の処理施設の工場 又は事業場における施設番号		処理-1		
処理に係る揮発性有機化合物排出施設 の工場又は事業場における施設番号		1		
揮発性有機化合物の処理施設の種類、 名称及び型式		蓄熱式処理装置 △△-〇〇型		
設	置	年	月	日
年	月	日	年	月
着	手	予	定	年
年	月	日	令和3年 6月 5日	年
年	月	日		日
使	用	開	始	予
定	年	月	日	令和3年 7月 10日
年	月	日		年
年	月	日		日
処 理 能 力	排 出 ガ ス 量 (m ³ /h)		25,000	
	揮発性有機化合物濃度 (容量比ppm(炭素換算))	処理前	1,000	
		処理後	10	
	処 理 効 率 (%)		99	

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 排出ガス量は、湿りガスであって、最大のものを記載すること。
- 3 揮発性有機化合物濃度は、湿りガス中の濃度とすること。
- 4 揮発性有機化合物の処理施設の構造及びその主要寸法を記入した概要図を添付すること。